

白山市立蕪城小学校

校長だより

No. 5

令和8年度 5月28日



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成
～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら関わり学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「力いっぱい活動する子」

学校研究 本格スタート 算数科における「見方・考え方」を学ぶ！

5月25日（月）に今年度最初の研究授業が行われました。学校では、授業力の向上や学校研究の充実を図っていくことを目的に県や市の指導主事を要請し、研究授業を実施しています。今回は、5年B組の算数科「直方体や立方体の体積」（栖原教諭）の授業を全員で参観しました。

授業では、前の時間との違いから今日の授業の課題を焦点化して児童の「解決したい」という思いを引き出していました。そして、共有したゴールの姿を目指す児童の一生懸命な様子を見ることができました。授業者の児童に寄り添う声かけや児童がペアで協力して問題解決に向かう姿が印象的でした。授業者の働きかけによって、「既習の形にすれば習った公式を使って求めることができる」という算数科における大切な見方・考え方に迫っていました。



授業整理会では、金沢教育事務所の川本指導主事様から成果として、「ねらいの達成に向けて学び方を選択できる環境が整っていた」「児童は最後まで集中して取り組んでいた」等が挙げられました。一方、今後に向け「ねらいの達成に向けた問題の取り上げ方の工夫」等の助言を頂きました。

非認知的能力を高める

近年、教育の上で「非認知的能力」の大切さが重要視され、学力向上に繋がる能力や社会に出た時に企業が求める能力とされています。具体的には「自分で自分の行動を律する力、計画をたてて実行する力」「最後まであきらめずにやりとげる力、忍耐力」「自分の気持ちをコントロールして、仲間と協力して学習に取り組む力」「思いやりや意欲・やる気、好奇心」等です。学校ではこれらの力の育成も考慮して、児童に働きかけています。

また、ある調査では**学力上位の子どもの家庭環境**として以下の点があげられています。

- ①**規則的な生活習慣**：「早寝、早起き、朝ごはん」。テレビやゲームの時間やルールを決める。決めたことを子どもが守っているか関心をもち、確認する。
- ②**非認知スキル**（自制心や意欲、忍耐力など）を高める働きかけ
良いところを褒めて自信を持たせる。努力することや最後までやり抜くことの大切さを伝える。自分と異なる意見や少数意見の良さを生かしたり、折り合いをつけたりする。
- ③**知的好奇心の刺激**：子どもに本や新聞を読むように勧める。小さい頃絵本の読み聞かせをした。外国語や外国の文化に触れるように意識する。
- ④**しっかりとした家庭学習**：計画的な勉強を促すこと
- ⑤**子どもとの会話**：学校、友達、将来、世の中の出来事等の会話、地域の活動に親子で積極的に参加する。

お子様の生活習慣を整え、非認知スキルを高めることや知的好奇心を刺激することがお子様の学力を高め、将来性を広げることに繋がります。保護者の皆様が率先して手本となる姿をお子様に見せたり、お子様にきっかけや気づきのポイントを伝えたり、励ましの言葉をかけたりして頂きますようご理解とご協力をよろしくお願いいたします。